



感受性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い、

大蔵流狂言師・茂山千三郎が演出します。

「狂言」を通じて日本の伝統を

身近に感じてもらうための体験講座です。



あらすじ

柿山伏(かきやまぶし)

出羽の羽黒山の山伏が大峰、葛城で修行して帰る途中、お腹がすいたため、道端の柿の木に登って無断で柿を食べているところへ、畑主が見回りにやっ

てきます。それを見つけて腹を立てた畑主は、木のかげに隠れた山伏をからかってやろうと、わざと「あれは鳥だ」「猿だ」と声に出します。正体がばれないように山伏は、そのたびに鳴き声を真似しますが、ついに「あれは鶯だ、鶯ならば羽を伸ばして鳴くものだが、鳴かないのなら人であろう」と言われ、とうとう畑主へのせられ鶯の鳴き真似をしながら木の上から飛びおりてしまいますが…。

狂言とは便利なもので、何でも有るつもりで演技をします。「柿山伏」はそのつमりの演技が十分に発揮されている狂言の一つです。

講座

2021年

6月5日土 6月19日土

6月26日土 7月3日土

各回 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)

発表

7月4日回 15:00開演 (14:45開場) 観覧無料

《講座》茨木クリエイティブセンター 2階・多目的ホール ほか

《発表》茨木クリエイティブセンター・センターホール

受講料 1,000円 (通し)

定員 20人

対象 小学生

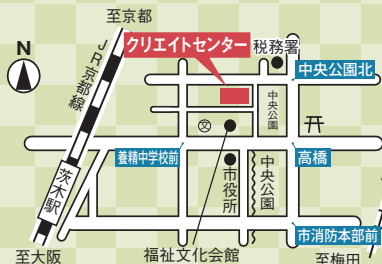
- 講座から発表まで5回通しで参加できる方。保護者同伴でご参加ください。
- 動きやすい服装で、足袋または靴下を着用してご参加ください。
- 録音・録画機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。

4月11日(日) 9:00受付開始

お申込み
お問合せ
茨木市文化振興財団・文化事業係
【電話】072-625-3055 (9:00~17:00)
【web】https://www.ibabun.jp



▲申し込みフォーム



茨木市駅前四丁目6番16号
TEL 072-624-1726
JR茨木駅から東へ徒歩10分。
阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

ご来場の際は、感染症予防にご協力くださいますようお願いいたします。
詳しくは茨木市文化振興財団のweb サイトにて最新情報をご確認ください。

講座

講師



茂山千三郎 しげやま・せんざぶろう

1964年生まれ(56歳)
祖父三世茂山千作(人間国宝)、父四世茂山千作(人間国宝)に師事。
三歳、「業平餅」童にて初舞台。50カ国におよぶ海外公演をはじめ、他ジャンルとの交流、また演出家としても活躍。
デビュー作ミュージカルドラマ「ONATSU」では現代劇・オペラ・ミュージカル・狂言をユニットさせ好評を得る。2013年堺シティーオペラ「ちゃんちき」の演出で「UFJ」信託銀行奨励賞を受賞。
落語立川志の輔、中国古箏伍芳、二胡奏者チェンミン、夏川りみ、など数々のコラボに挑戦し、京都大学前総長・霊長類学者・山極寿一氏とともにゴリラの一人狂言「ゴリラ楽」発表。
1999年「京都府文化奨励賞」2004年「京都市芸術新人賞」2014年「京都府文化功労賞」受賞、2021年新しい時代の幕開けに、茂山千五郎一門から独立、父・祖父から受けた薫陶を咀嚼し、自らの狂言道を極める決意をする。



中川昌典 ながかわ・まさのり

1986年生まれ(35歳)。茂山千三郎に11歳から師事。1999年7月「しびり」にて初舞台。2014年2月「那須之語」を抜く。



廣瀬湧子 ひろせ・ゆうこ

2歳より茂山千三郎に師事。1996年2月(3歳)「いろは」にて初舞台。1999年12月「靉猿」の猿(7歳)。2016年9月「三番三」(23歳)。2021年5月「那須之語」(28歳)を開曲予定。



黒川亮 くろかわ・りょう

1997年生まれ(23歳)。3歳より茂山千三郎に師事。2001年7月「いろは」にて初舞台。2002年1月「靉猿」猿を抜く。